



公益社団法人 福岡貿易会
FUKUOKA FOREIGN TRADE ASSOCIATION

FUKUOKA
FOREIGN
TRADE
ASSOCIATION



第31号

福貿 ニュース

福岡貿易会情報誌

国際ビジネス相談をリニューアルしました!!

福岡貿易会では、海外ビジネスの始め方から輸出入、海外進出などの様々なご相談に対し、国際ビジネスの経験豊富な商社の現役社長や、物流・国際金融の専門家がご相談に応じる国際ビジネス相談を行っています。

これまでは、相談日時をあらかじめ設定した「定期相談」をメインに対応してきましたが、4月から、相談者からの要望に応じて相談日時を設定する「随時相談」へ相談システムを変更しました。

また、英文(中文)契約書など法務に関する相談も増加していることから、新たに「法務相談」にも対応することとしました。

貿易に関する様々なご相談内容や対象国に応じて、最適のアドバイザーが対応します。これからも、当会の国際ビジネス相談をお気軽にご利用ください。(完全予約制。ご相談日時はご都合に合わせて調整します。)

福岡貿易会貿易アドバイザーの方々 (専門分野とお名前)

輸出入



矢幡 卓美 氏

輸 入



伊藤 啓輔 氏

通関・物流



岡林 秀成 氏

国際金融



木村 寧海 氏

国際法務



山上 祥吾 氏

中国・韓国



古森 政基 氏

中国・香港・台湾



田中 豊 氏

中国・台湾



小林 修 氏

ベトナム



首藤 章三 氏

その他の地域に関わる内容(エリア別相談)についてもご相談をお受けしております。
(相談内容に応じた専門家やアドバイザーをご紹介します。)

※ ご相談は、原則、対面相談でお願いしております。E-mail、FAXによるご相談も受け付けておりますが、誤解を避けるために、アドバイザーから電話等で詳しい状況のお尋ねをさせていただく場合があります。
※ ご相談に対する助言等は参考意見であり、その解決に向けた判断及び実行等によって生じる責任は一切負いかねますので、予めご了承願います。

相 談 無 料

相談日時

毎週月曜日～金曜日
(祝祭日をのぞく)
9:30～16:30のうち1時間

予約先問合せ先

担当：柴田
TEL：092-452-0707
FAX：092-452-0700
info@fukuoka-fta.or.jp /
http://www.fukuoka-fta.or.jp

相談会場

(公社)福岡貿易会 相談室
福岡市博多区博多駅前2-9-28
福岡商工会議所ビル7F

海外ミッションへ参加しました

福岡貿易会では、海外市場の開拓などを目的に、定期的に経済視察団を海外に派遣する一方、他の経済団体や行政機関などが実施する海外ミッションにも参加し、海外情報の収集や現地政府・企業との人脈・ネットワーク形成などを積極的に行っています。

今回、今年に入って参加した他団体主催の海外ミッションについて報告します。

福岡市台北プロモーション 明星和楽 in 台湾

1月18日～21日、台湾にて、福岡市と台湾の経済交流等を促進するための「台北プロモーション」が開催されました。

福岡と台湾は、歴史的にも関係が深く地理的にも近いことから、これまでも経済界では活発な交流が行われており、福岡市では官民あげた経済交流が本格化しています。

今回、福岡からは、福岡市長や福岡商工会議所会頭をはじめ、福岡貿易会や福岡市議会、福岡観光コンベンションビューローなど官民の各方面の方々に参加しました。

○明星和楽 in 台北

「明星和楽」とは、福岡で起業した若者たちが実施するテクノロジーとクリエイティブの祭典です。これまでは主に日本国内で開催していましたが、今回初めて台湾の起業家らも企画段階から参画し台北で開催されました。共にイベントを企画・実施することで、単なる商談会や交流会では築けないネットワークを構築することができ、今後のビジネスパートナーとしての交流も生まれました。

イベントの会場は、現地の若者が多く集う西門エリア。同エリア内の100年を超える古跡建築物「西門紅樓」を貸し切り、両地域のビジネスプレゼン大会や福岡の観光PR、屋外でのラーメン屋台、ブース展示等を実施し、約5,000人を超える来場者で賑わいました。特に福岡出身のミュージシャンやパフォーマーによる趣向を凝らしたステージは大盛況。台湾の皆さんに最新の福岡情報を直接発信することができました。



福岡のアイドルによるステージ



鏡割り

○トッププロモーション

総統府や經濟部、台北市政府などを訪問し、今後の経済・観光・文化面における交流推進及び若手起業家を含めた双方の進出企業を支援していくことを確認いたしました。



総統府表敬訪問



台北市政府表敬訪問

このほか、台湾厚德会（台湾の経済団体）との交流会にも参加し、電子部品の輸出入や産学連携分野などでも活発な意見交換を行いました。

こうした取り組みを通して、福岡と台湾との経済交流がより一層深まり、台湾市場への福岡企業の進出や台湾からの企業・観光客の誘致などが促進されることが期待されるそうです。

福岡・ラオス友好協会と在福岡ラオス名誉領事館によるラオス訪問

当会会員を中心に2010年4月に設立された福岡・ラオス友好協会では、2月16日から21日の日程でラ



ラオ・アセアン・ホスピタル前にて原田医師と



ソムデイ計画投資大臣を囲んで

オスを訪問しました。訪問団は、福岡・ラオス友好協会と在福岡ラオス名誉領事館のメンバー20名に長崎ラオス友好協会のメンバー5名を加えた総勢25名で、首都ビエンチャンと古都ルアンパバーンを訪問しました。

○首都・ビエンチャン

今回の訪問は、現地ラオスで活躍中の人達から話を聞き、また、諸外国からの投資により変わりゆく街の状況を見て、今後の友好協会の進め方と、どのようなビジネスチャンスがあるかを探ることを主な目的としました。

「小学校への体重計の贈呈式」「ラオス投資セミナー」「在ラオス日本大使公邸での晩餐会」「ラオス財閥の一つボンサワン会長訪問」「ソムデイ計画投資大臣表敬訪問」等々刻みの公式行事の合間を縫って、韓国資本で開設された証券取引所、現在開発中の中国資本のショッピングモール用地、ベトナム資本により開発されたアジア最大規模と言われるゴルフ場など、開発が進む市内の視察を行いました。

市民が買物に行くと言われるメコン川を挟み国境を接するタイ・ノンカイのショッピングセンター（大型スーパーマーケット）やノンカイ駅等を見て、ラオスとタイの経済格差を実感しました。

ノンカイからの帰路には、中島名誉領事・長崎友好協会が進めている長崎市民病院からの医療器具の寄贈について、福岡出身の女医・原田さんが活躍している寄贈先のラオス初めての民間病院「ラオ・アセアン・ホスピタル」を訪問しました。

以下、ビエンチャンでの活動について主だったものを紹介します。

<体重計の贈答式>

現地の小学校、幼稚園に体重計50個を寄贈しました。当日はビエンチャン市文化教育局長と25校の小学校・幼稚園代表者が出席する中で贈呈式が行われました。



文化・教育局長に体重計を渡す津田会長

<ラオス投資セミナー>

現地で活躍中のビエンチャン日本人商工会議所山田氏、赤坂総合事務所ラオス代表飯田氏、現地会社LeFu社副社長坂田氏の3名から、現地での苦労話やこれからの夢・ビジネスチャンスなどの話をうかがい、意見交換を行いました。



体験談・将来の事業計画を話す飯田氏

特に、飯田氏の「ラオスは今が明治維新」という言葉と、2年間で立ち上げた小豆栽培、ケーキ・パン製造卸販売、弁当製造販売、和牛プロジェクト等の事業実績と今後のエネルギー事業が印象的でした。

<在ラオス日本大使公邸での晩餐会>

現地で活躍中の日系企業・諸団体、ラオス政府関係者、日本大使館メンバーとの交流会が大使公邸で開催され、ラオスの現状等について活発な意見交換を行いました。

<ラオス大手財閥のボンサワン頭取訪問>

ラオス唯一の民間銀行他を運営するボンサワン財閥が計画するビエンチャン副都心構想「サンクトン郡開発」について熱い説明を受け、頭取からは、日本からの投資を依頼されました。



岸野大使の歓迎のご挨拶

<ソムデイ計画投資大臣による投資セミナー>

2012年10月に来福されたソムデイ大臣を訪問し再会を祝しました。また、大臣からは、日本からの投資について要請がなされました。

○古都・ルアンパバーン

1995年に世界遺産に登録された古都・ルアンパバーンを再度訪問しました。

ルアンパバーンは、少し郊外に行けば機織りの村、紙漉きの村、焼酎の村があり、支流のカーン川では子供たちが水遊びに興じ、お坊さんの早朝の托鉢は365日行われています。日本の5、60年前の原風景に出会える心洗われる街でした。フランスの植民地であったことから欧米人の旅行者が多く、まだ日本人の旅行者を見るのは本当に稀でした。次回は皆さんを是非お連れしたいと思えます。（事務局・甲斐敏洋）



早朝の托鉢

昔ながらの製法で作るラオ焼酎

機織りの女性

特別寄稿

中国に思う

三菱商事株式会社 理事
九州支社長 金重州典



福岡でのPM2.5による大気汚染が最近特にひどい。これは中国における大気汚染の影響である事は周知の事実である。私自身、1997年から2002年にかけて5年半北京に駐在していた事もあり、この汚染は大変気になる事象である。私の友人に中国通で中国の歴史に詳しい仁がいるが、彼に言わせると古の北京の地形図を見る限り北京は水が豊富で周りを山に囲まれた正に風光明媚で要塞堅固な都であった様だ。然しながら、環境価値に配慮を怠った経済発展のお蔭で少し言いすぎかも知れないが、今は昼間も暗い人間らしさを失った首都となってしまった。また、尖閣・靖国をめぐる両国の政治不信は根深いものがあり、中国は日本にとって付き合いづらい国である事も否めない。

一方、昔から中国と日本は好む好まざるに拘らず隣人として物、文化の交流を続けてきた歴史があり、地政学的にこの関係は変わり様が無い。この様に考えていくと政治の事はさておき、大気汚染問題の早期解決は日本にとって緊急の課題であり、殊の外福岡にとっては美しい街、人間らしい生活を守る為にも避けて通れない問題である。

通常、貿易といえば商品・インフラの輸出が中心となるが、この両国の難しい現状を考えると、環境技術というソフトの輸出を行うことにより、政治問題抜きで両国間の懸案事項を解決していく事は非常に大切だと思う。

現在わが社では、九州大学の100周年記念事業の一環として蘇州太湖の水質汚染の現状調査及びその対策事業の支援を行っているが、この様な試みが両国の関係改善に少しでもお役に立てれば有難いと切に願っている次第である。

話をはがりと変わるが、中国は世界の三大料理の一つである中華料理を育ててきた歴史を持つ。中華人民共和国となって、本当に美味しい中華は無くなったと言われて久しいが、北京ダックなどはやはり本場の味を堪能してみる価値があると思う。この様な食の文化交流も一方ではもう少し進んでもいいように思う。

最後になるが、環境改善を通じ、日本との関係が改善し、両国民が共存共栄でき、美味しい中華が味わえる新時代の唐人町が福岡に出来上がるのは夢だろうか？

会員便り

「平成二十三年 晩秋 イスラエル・ トルコ紀行 ③」

（個人参町ホーム 代表取締役）
池田 憲和



福岡貿易会主催のイスラエル・トルコ経済視察団（平成23年10月実施）に参加された会員から寄せられた紀行文（続編：その3）です。

三、満点アタチュルク

私がムスタファ・ケマルという人の伝記をどうという経緯で読もうという気になったのかは覚えていない。ただ、その本は今でも手元にあるので引っ張り出してみたところ、j. プノアメジャン 著、牟田口義郎 訳、「灰色の狼 ムスタファ・ケマル - 新生トルコの誕生」という本で、一九九〇年に改訂第一刷の日付があるから、おそらく、その前後に購入したのだろう。ただ、当時、これを読んでとても強い印象を受けたことは覚えている。

トルコ建国の父、ケマル・アタチュルクは、元々、ムスタファという名前であり、ケマルとは幼年兵学校時代、数学のテストであまりに毎回、満点（ケマル）を取ることでそれが仇名となり、そのまま自分の名前にしたと言われている。思えば、ナポレオンも幼少期には数学が得意であったというが、彼らのような、「人の上に立つ人」の場合、特徴としては二通りあるのだろう。数学的思考法に長じた者と文学的思考法に長じた者である。

ケマルやナポレオンなどは明らかな前者の代表だろうが、後者の代表としては国語が得意だったという毛沢東が挙げられるだろう。両者の質の違いは、直線的と包括的、直感的と思索的、一方は中央突破、一方は包圍殲滅、あるいは西洋的と東洋的、軍人と政治家の違いと言い換えても良いのかもしれない。

*

第一次世界大戦中の大正四年（一九一五年）、ガリポリ半島攻防戦で頭角を現したオスマン・トルコの軍人、ムスタファ・ケマル大佐は大戦後、祖国解放戦争の指導者となり、国土を占拠したギリシア軍を撃退、列強の干渉も撥ね退け、さらに、事ここに至ってもなお自ら保身のみを図ろうとする皇帝メフメト六世との暗闘にも勝利し、ついに、オスマン・トルコを廃して、現代のトルコ共和国を建国したことで「国父（アタチュルク）」の称号を受け、今日でも多くのトルコ人の尊敬を一身に浴びている。

実はそれを確認したいというのも私のこの時の視察の目的の一つであったのだが、この点は見事に果たされた。祝日に掲げられた国旗の幾つかにはケマルの肖像入りの物が翻り、売店の女性に至っては自らの腕にその名前を刺青していた。

ちなみに、ガリポリでケマルが英・仏連合軍を撃退したことで、戦死したのが「原子番号」の概念を発見しノーベル賞を確実視されていた天才的物理学者、ヘンリー・G・J・モーズリーであり、失脚し、長い雌伏の時を余儀なくされたのがこの作戦の立案者であったウィンストン・チャーチルであり、そして、彼らに代わって歴史の表舞台に登場することになるのが「アラビアのロレンス」こと、トーマス・E・ロレンス大尉であるといった方がむしろ、この戦いの輪郭を思い浮かべやすいのかもしれない。



（↑ガリポリ半島に今も残る戦勝記念碑）

話が横道にそれたが、ケマルについて描かれた同著の中で私が印象に残っているのは、首都がアンカラに移った経緯もさながら、まずは「建国の宣言をして執務室に戻り、机に向かった直後、銃声が響き渡ったことから、ケマルが窓の外を見やると、トルコ兵が撃退したギリシア兵を射殺しているところであり、これを見たケマルは少し肩をすくめて、何事もなかったようにまた、元の執務に戻った・・・」という部分である。

私は、この手の英雄伝説によくある、「寛容さを見せて無益な殺生はやめさせた」というオチかと思っていたので、少し意外な感があったのであるが、要はそれだけ彼らの確執は容易ならざるものがあったということなのであろう。

だが、それ以上に印象に残っているのが、ケマルが、トルコでは男性の帽子であるトルコ帽の着用を禁止したことである。これは、日本でいうところの断髪令に相当するであろうか。しかし、帽子は髪型と違い、兵士も含むトルコの人々の習慣、癖に属することで、言うならば、人々の日常生活にまで踏み入ってこれをやめさせることであり、それだけに、「果たして本当にそんなことができるのか？」と訝しんだのだが、ケマルがこれに成功したという回答を得たとき、私は本当に驚いたのを覚えている。

*

もう一つ、ケマルの革命が生んだ悲喜劇という点では触れておかねばならないことがある。オスマン朝の皇帝（スルタン）の後宮であるハーレムの存在である。

イスタンブール訪問の際、私はスルタンの居城であったトプカピ宮殿を訪れる機会を得たが、ここに来たれば「ハーレム」という響きに何かしら怪しげな魅力を感じるのには木石ならぬ身としてはやむを得ないことで、当然、足を運んでみた。

その前に少し触れておくと、オスマン朝の皇帝は歴代すべて皇帝と奴隷のハーフである。つまり、歴代皇帝の母はすべて奴隷として売られてきた、もしくはさらわれてきた女性ばかりであり、特に美人の産地として有名だったコーカサス地方の女性が多かったと言われている。

もっとも、スルタンの周囲を彩ったのは何も美女の奴隷ばかりではなく、近衛兵ともいべきイエニチェリ軍団もすべて奴隷であり、特にバルカン半島出身の少年が多かったと言われているが、その意味では、ヨーロッパ人がこれを見て、「オスマン・トルコは皇帝以外全部奴隷」と言ったのもあながち間違いではなかったであろう。

この点で、ケマルによりオスマン朝が減ぼされたことで、ハーレムの女性たちは皆、「解放」されることになったのだが、日本の江戸城明渡しの際の大奥とはここが大きく違うのである。

どういうことかといえば、大奥にいた女性たちはその大半が名門名家の出か、もしくは、十分な教養などを身に着けたキャリアであり、個人的蓄財もそれなりにあったであろうから、大奥を退去してもそれほど行き先には困らなかったであろう。が、ハーレムの女性たちはそうではない。

幼くしてハーレムに売られてきて、皇帝の相手をするだけしかしてこなかった人々なのである。いきなり、「解放する」と言われてもどこへ行っていいかわからず、「自由にしろ、好きな所へ行け」と言われても行く宛もない。自ら、衣食を得る術を持たない人々なのである。多くがその後、どういう人生を歩んだかは想像に難くないであろう。

ある女性は「スルタンの愛妾」ということで西欧の酒場で見世物となったとも聞かすが、これが、「解放」という心地よい響きを持った言葉の裏にあった哀しい現実であることも書き留めておきたい。



「ハーレムの 見上げし先の ウロコ雲」 梁庵平太

福貿倶楽部(小規模交流会)を開催しました

福岡貿易会では、国際ビジネスに関する最新情報などをお招きしたゲストからお聞きするとともに、参加者同士の情報交換等を行う小規模の交流会を実施しています。

今回の交流会は、3月19日(水) 18:30から天神平和和本店を会場に、会員企業の実務担当の方も参加できるよう「実務者編」として開催しました。

講師には、(株)正興電機製作所ITソリューション事業部の松原崇廣様をお招きし、ご自身の海外駐在時の実体験をもとに「海外駐在のポイント～心構えとリスク回避～」と題してご講演をいただきました。

講演後の交流会では、大きな会合ではなかなか難しい参加者同士の親密な懇談風景が見受けられました。

この交流会は、普段、面談することが難しい方々とも自由に懇談・情報交換できる絶好の機会です。今後も定期的に開催を予定しておりますので、どうぞお気軽にご参加ください。



今年も実務に役立つたくさんのセミナーを企画・実施します

福岡貿易会では、日々の貿易実務に役立つ、多種・多様なセミナーを年間通じて開催しています。実務セミナーでは、分野別・受講者のレベル別にカリキュラムを設定。講師には全国的に評判の高い方々を招いて実施し、講義だけでなく演習やロールプレイも交えた構成など、受講者からは、初任者にもわかりやすい、実務に役立つと大変好評です。

また、夜間の語学講座は、今年も英語、中国語、韓国語を習熟度に応じて開催しており、語学の習得だけではなく受講生同士の交流も盛んで、毎回楽しい雰囲気の中で進められています。

夜間の語学講座については、まずは見学だけでも可能です。今年も、次ページのとおりのメニューを用意して皆さまのご参加をお待ちしております。ぜひご参加ください。

最近のセミナーの様子

○貿易実務講座実践編

(日程) 平成26年1月16日(木)～17日(金)
 (内容) 貿易取引の流れ、輸出・入通関と法規制、関税制度、送金取引の実務(ロールプレイ) など
 (講師) (株)アースリンク代表取締役 曾我しのぶ氏 など



○食品輸入実務者向けセミナー

(日程) 平成26年2月6日(木)
 (内容) 輸入食品における食品添加物のケーススタディー、厚生労働省のホームページと食品等の規格基準について など
 (講師) 福岡空港検疫所支署 食品監視課長 平井 秀和 氏
 福岡検疫所食品監視課 輸入食品相談指導室長 岡田 純也 氏



○海外事情セミナー

～中国での日系企業の動向と戦略～
 (日程) 平成26年3月10日(月)
 (内容) わが国製造業企業の海外事業展開に関する調査報告、中国事業の出口戦略 など
 (講師) 国際協力銀行国際業務企画室調査課調査役 山口 陽子 氏
 副調査役 中川 達陽 氏
 西村あさひ法律事務所外国法パートナー 張 翠萍 氏



○税関セミナー

(日程) 平成26年3月13日(木)
 (内容) 博多税関支署の概況について、EPA原産地規則の概要について、AEO制度について など
 (講師) 門司税関博多税関支署 支署長 小橋 博文 氏
 業務部 原産地調査官 新納 重勝 氏
 認定事業者管理官 綾垣 智之 氏



平成26年度 セミナースケジュール

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
税関セミナー 半日	貿易実務講座 応用編 2/3 貿易保険 海外PLセミナー 海外事情セミナー			貿易実務講座 実践編 2日間 11/20-21 海外事情セミナー	英文契約書 基礎編 2日 10/7-8 食品輸入実務セミナー 半日	貿易英語講座 9/25 輸出入金融セミナー 9/26	外航貨物 海上保険 初めての海外販売戦略 8/20 海外事情セミナー	ビジネス英語 入門 2回 7/16・23	通関・食品輸入 手続き入門 半日	新人セミナー 3日 貿易実務講座 入門編5/12-13 施設見学5/21 海外事情セミナー	海外PLリスク マネジメント 解決 4/16
中国語会話初心者編 20回 毎週火曜日 10/7~3/10 (12/23・12/30・1/6 休み) ※ (一社) 博多港振興協会と共催											
ビジネス中国語会話初級編 (中国語学習歴3年以上) 20回 毎週火曜日 10/7~3/10 (12/23・12/30・1/6 休み) ※ (一社) 博多港振興協会と共催											
韓国語会話 30回 毎週水曜日 6/4~1/14 ※ (一社) 博多港振興協会と共催											
2年目の中国語会話 20回 毎週火曜日 4/15~9/16 (4/29・5/6・8/12 休み) ※ (一社) 博多港振興協会と共催											
ビジネス中国語会話中級編 (学習歴5年以上) 20回 毎週火曜日 4/8~9/9 (4/29・5/6・8/12 休み) ※ (一社) 博多港振興協会と共催											
ビジネス英会話中級編15回 毎週木曜日 10/23~2/26 毎週木曜日											
ビジネス英会話初級編15回 毎週木曜日 6/19~10/2 毎週木曜日											
*ビジネス英会話 初級編 ... TOEIC400、英検2級以上 中級編 ... TOEIC600以上											
*中国語 2年目の中国語会話 ... ビン音習得済み、中国語学習歴1~2年ほど 中国語会話初心者編 ... 全くの初心者向け *ビジネス中国語 中上級 ... 中国語学習歴5年以上 初級 ... 中国語学習歴3年以上											
夜間コース											

研修会・セミナー

※ 講座対象者のおおよその目安
 ■ = 初任者・初級者向け
 ■ = 初・中級者向け
 ■ = 上級者・実務者向け
 ■ = 人事担当・管理者向け

上海通信

タクシーアプリ問題

中国でもスマートホンが急激な勢いでシェアを伸ばしていることに伴い、様々な市民サービスを提供するアプリが開発されています。その中でも昨年大きな話題となったのがタクシー配車アプリです。

上海の場合、人口約2400万人に対しタクシーは約5万台と慢性的なタクシー不足の状態が続いており、朝夕の通勤時間帯や雨の日等はタクシーを拾うのが困難な状況でした。この配車アプリは目的地を入力すればGPSでヒットした現在地周辺にいるタクシーに情報が一斉配信されるという仕組みで、その特徴はチップを設定できるという点です。チップを払ってもタクシーに乗りたくない客と目的地やチップの額で客を選べる運転手、双方にメリットがあるためこのアプリは爆発的に普及しました。

一時は40ほどのアプリが乱立していましたが、最近「滴滴打車」と「快的打車」の2つのアプリに集約されつつあります。前者は4億人のアクティブユーザーを持つ中国最大のメッセージングアプリ「微信」（日本のLINEのようなアプリ）を展開するテンセント、後者は中国最大のEコマースサイト「淘宝网」を展開するアリババがそれぞれ運営しています。今年の春節期間中には両社がシェア獲得のため利用1回につき運転手・客それぞれに10元のキャッシュバックを行うなど競争が激化していました。

ところが、2月末になって上海市当局は朝夕ラッシュ時のアプリ使用禁止を発表しました。主な禁止理由は2つあります。一つめは、このアプリを使用する運転手が空車であっても乗車拒否等を行うことが多くなり、老人等スマホを使いこなせない世代がタクシーを拾うことが非常に困難となり市民からの苦情が殺到したこと。二つめは運転手が運転中もこのアプリを使用して次の客を探したりするため安全上問題であると指摘されたことです。3月初めには上海市当局は大々的に路上での取り締まりを実施し、この問題に積極的に取り組んでいる姿勢をアピールしました。今後恐らく他の地方当局もこれに



上海代表処 所長
榊原 英明



倣うと見られ、全国的に規制の対象となりそうです。春節期間中に大々的なキャッシュバックキャンペーンを実施し合計約4億元をつぎ込んだ2社にとっては大きな痛手となったと報道されていますが実際のところはどのようなのでしょうか。

このキャンペーンは2社それぞれが所有する「微信」「支付宝」といった電子決済を利用した人に限りキャッシュバックされる仕組みでした。期間中約2000万の電子決済口座が新規に登録されたそうです。1人当たりに換算すると約20元です。一般的に中国における電子決済の新規口座獲得費用は200-300元/人と言われていまして、今回2社はかなり安い費用で新規口座を増やせたこととなります。元々このアプリ自体は利用料無料のため収入源ではありませんでしたので当初からここが狙いどころだったとも考えられます。今後はタクシー会社の配車システムに組み込まれるという報道もなされていますので電子決済手段としての両社のシェア争いはまだまだ続きそうです。

*

さて、最後になりましたが、小職の上海通信は任期満了のため今回が最後となります。思い起こせば3年前に赴任した当初は東日本大震災後の日本食品の輸入規制や訪日観光客の激減等の対応に追われ、それが一段落して貿易、訪日客ともに徐々に回復してきた矢先、一昨年秋に起きた領土問題でまた振り出しへ戻るといった具合で業務上は色々ありました。そんな中でも総合的に見れば、日本商品やサービスは、受け入れられる裾野が着実に広がっていることを実感しています。自動車や家電、食、美容・健康など多くの分野で日本商品に対する信頼度は非常に高く、今後も小売り産業については十分チャンスがあると考えています。訪日観光客についても昨年後半から上海における個人ビザに関しては発給数が過去最高を更新し順調に推移していることから、上海から一番近い福岡にもさらに多くの中国人観光客が訪れることが予測されます。この動きに連動したインバウンドによる消費拡大という点でも更にビジネスチャンスが広がっていくことを期待しています。

本代表処では引き続き上海を中心に中国の最新の経済情報の積極的な収集・共有に努め、福岡の経済発展に繋がるよう頑張っまいりますので、皆様お問い合わせはもちろん、出張等でお越しの際はぜひお立ち寄りいただければ幸いです、3年間ありがとうございました。

新会員の紹介



日本連合警備株式会社

代表者: 代表取締役社長 馬場 ヒロ子
所在地: 〒870-1152 大分市上宗方明川原124-1
TEL: 097-542-4711 FAX: 097-542-4710
URL: <http://jsu-oita.jp/>

主要業務: 《警備全般》機械警備、施設警備、現金・貴金属運搬業務、イベント警備、交通誘導警備、巡回警備、美術館・病院等の常駐警備、消防設備用機器点検、ホームセキュリティ、防犯カメラ設置及び販売、消火器等の販売。

当社の特色: 弊社は昭和44年創業のトータルセキュリティカンパニーです。官公庁、重要文化財、公共施設、民間企業等を対象に、機械警備、常駐警備、現金輸送、イベント警備を行っております。地域の皆様の安全と安心を担うため、常に先進技術を導入し、現在、精鋭警備士約300名体制で100%の安全精度をもったセキュリティシステムの構築を目指しています。今まで培った人の予知能力・判断力・対応力と、機械の精密さ・正確さを掛け合わせた良質の警備のノウハウを、福岡においても提供いたします。

人事短信

平成26年4月1日付 ※氏名の後の()は直前の役職です。

○福岡市 経済観光文化局 (新任)

局長 重光 知明 (財政局長)
理事 落石 稔彦 (住宅都市局総務部長)
観光コンベンション部観光戦略課長 三宅 宏治
(同課企画調整係長)
同部都市観光推進課長 上蘭 久美 (同課観光推進係長)
同部課長 (第2期展示場整備担当) 富田 久仁彦 (港湾局計画課長)
同部観光振興課長 石和 秀人 (同課振興第1係長)
空港対策部空港対策課長 小西 盛時
(港湾局振興課長)
(転任)
福岡市立病院機構事務局長 永瀨 英洋
(経済観光文化局長)
こども未来局長 石橋 正信 (理事)
市民局事業推進課長 宮崎 岳彦
(経済観光文化局観光戦略課長)

総務企画局 (新任)

国際部長 井口 宏樹 (市長室長)
国際課長 伊勢川 幸満
(経済観光文化局都市観光推進課長)
国際課長 原 敏彦
(環境局収集管理課家庭系廃棄物係長)
(転任)
東区市民部長 百武 隆典 (国際部長)
福岡市文化芸術振興財団事務局事業課長 新二日市 博幸 (国際課長)
人事委員会事務局任用課長 高本 英一 (国際課長)

港湾局 (新任)

理事 水町 博之 (アイランドシティ事業推進部長)
港湾振興部長 南里 隆幸
(住宅都市局伊都区画整理事務所長)
計画部長 吉川 一彦
(アイランドシティ経営計画部計画調整課長)
アイランドシティ事業推進部長 黒岩 尚昭
(同部立地促進課長)

総務企画課長 平田 成人
(総務企画局行政マネジメント課長)
振興課長 進藤 一都
(総務企画局東京事務所次長)
クルーズ課長 中村 均 (城南区健康課長)
計画課長 荒巻 成己
(道路下水道局自転車課施設係長)
事業計画課長 若松 秀樹 (同課事業計画係長)
計画調整課長 末次 敏弘 (同課みなと基盤係長)
立地促進課長 光安 利治
(経済観光文化局観光振興課長)
博多港開発(株)事業開発グループ課長 行武 伸二 (経済観光文化局空港対策課長)
(転任)
道路下水道局理事 野間口 毅 (理事)
道路下水道局管理部長 中村 貴久 (港湾振興部長)
城南区市民部長 渡邊 恭順 (計画部長)
教育委員会学務支援課長 長木 芳孝 (総務課長)

○福岡県 新社会推進部 (新任)

国際交流局長 福島 明彦 (同局交流第一課長)
同局交流第一課長 熊谷 晃
(商工部中小企業振興課長)

商工部 (新任)

中小企業振興課長 鷺山 俊勝
(中小企業経営金融課長)
同課新事業展開支援室長 大羽 智朗
(商工政策課副課長)
(組織変更)
観光・物産振興課長 武濤 研二郎
(国際経済観光課長)

○経済産業省九州経済産業局 国際部 (新任)

国際課長 植木 謙治 (総務企画部会計課長)
(転任)
地域経済部地域経済課長 中原 信隆 (国際課長)

【サッと出来る「自己/自社紹介」で良い取引を!】

末次通訳事務所 代表 末次 賢治

企業間取引は、担当者の自己紹介⇒自社/製品の紹介から始まります。私が見た処、企業人の多くは、自己/自社紹介・製品紹介が苦手です。サッと簡潔に紹介が出来ないと、海外取引先からの信頼は得られません。

自社紹介を簡潔かつ巧みに出来る英文パターンをご紹介します：【Japan Overseas Cooperation Volunteers is a national project launched in 1965 to help nation-building in developing countries by personal contact.】皆さん、この一文を、いつ迄も完全にソラで云える様に、毎日20回は音読しましょう。この文は簡潔に組織の特長を紹介する名文で、これを基本として様々な説明方法に応用できます：

Japan Overseas Cooperation Volunteersは【青年海外協力隊】の意。[a national project]で組織の定義をし、launched in 1965で[始まり]、to help nation-building in developing countriesは[事業目的]、by personal contact⇒目的遂行手段です。企業説明に適用します：

【Heisei Boeki Inc. is an Osaka-based trading firm started in 1870 to improve the QOL of people around the world by exporting & importing wonderful, quality goods.】(=平成貿易社は大阪本社の商社で、1870年創業。弊社事業目的は世界中の人々の

の生活水準向上にあり、その為に素晴らしく高質な商材を輸出入しています)。[the QOL]⇒the quality of lifeの意。読者の皆さん、ぜひ上記パターンで自社の紹介をサッと出来る様にしましょう。希望有れば添削しますので、貴社紹介例文をemail下さい：

自己紹介でも、10秒で出来るパターン有り。

自分の名前を巧みに使い：【Hi, I'm Kenji Suetsugu. Please call me Ken. Ken means "clever". So let's have a clever business partnership together.】というものです。

この様に自分の名を使い、ネタに困らずにサッと且つ印象深く自己紹介できます：

パターンは<①Hi, I'm(名前). ②Call me 下の名. ③[名] means「その意味」. ④[その意味]に因む取引関係を結びましょう!>と伝えます。

皆様も自分の名で自分の自己紹介パターンを作りましょう。英語が苦手な方も上パターンに当てはめれば、容易に出来る筈です。この件、何でも、質問があれば弊社に尋ねてください。

★良い海外取引には、サッと巧みに自分と会社を紹介出来る技が肝要。次回は商材の紹介方法を取り上げます：電子メールは、fuku@eos.ocn.ne.jp 宛：★お尋ねは何なりと！ See you next time! Thank you!! ==

福岡貿易会からのお知らせ

これからのセミナー

会員の皆さまには別途お知らせしますが、会員以外の方の受講も可能です。お問い合わせは福岡貿易会（☎452-0707）までどうぞ。

○海外PLリスクマネジメントセミナー解決・保険編

【日時】平成26年4月16日(水) 14:00~16:00

【会場】福岡商工会議所ビル2階 第2研修室

【講師】株式会社 損害保険ジャパン 福岡中央支店
福岡支社 海外PLリスクソリューションチーム

【内容】PLリスクマネジメントの初歩、適切なリスクヘッジのために、保険制度の理解と適切な保険手配など

【受講料】無料

○新人・新任者向け貿易研修会

<第1部 貿易実務講座入門編>

【日時】平成26年5月12日(月)~13日(火) 9:30~16:30

【会場】福岡商工会議所ビル2階 第2研修室

【講師】中矢一虎法務事務所(司法書士・行政書士)
国際法務株式会社 代表 中矢 一虎氏

【内容】貿易取引の仕組み、貿易実務の基礎について

【受講料】5,000円(会員料金)

<第2部 施設見学>

【日時】平成26年5月21日(水) 8:30~16:30

【内容】福岡空港、博多港の施設見学

【受講料】1,500円(会員料金)※昼食代込み

○ビジネス英語入門

【日時】平成26年7月16日(水)、23日(水)

【会場】福岡商工会議所ビルB1-a会議室

【講師】末次通訳事務所 代表 末次 賢治氏

会議等のお知らせ

○平成25年度第2回理事会を開催

今年度第2回目の理事会を3月25日(火)に開催しました。議事は次のとおりです。

(1) 平成26年度事業計画について

(2) 平成26年度収支予算について

(3) 経済視察団の派遣について

(4) 新規入会者の承認について

これらの議案については、全会一致により承認されました。

○第49回通常総会、平成26年度第1回理事会、会員交流会の開催について

当会の通常総会等を以下のとおり開催します。

日時：平成26年5月27日(火) 16:00~ 第1回理事会

17:00~ 通常総会

18:00~ 会員交流会

会場：ホテルニューオータニ博多

福岡貿易会事務局職員の異動

当会事務局職員が下記のとおり交代しました。よろしくお願いたします。※氏名の後の()は直前の役職です。

(新任)

業務課長 徳田 厚彦(福岡市保健福祉局高齢社会政策課地域福祉係長)

上海事務所長 奥田 聖(福岡市経済観光文化局主査)

(転任)

福岡市教育委員会発達教育センター 岡部 孝雄(業務課長)

福岡市経済観光文化局国際経済課 榊原 英明(上海事務所長)